

岡山実験動物研究会の再出発（その2）

三谷 恵一

岡山実験動物研究会会長

特色ある岡山実験動物研究会

第54回研究会が平成19年11月30日（金）ピュアリティまきび会館にて開催され“時計遺伝子(Period)”、“性決定機構”、“糖尿病とウジ虫の神秘を活かしたマゴットセラピー”の3題が、著名な研究者によって展開され、十分な質疑応答を行ないました。

第55回研究会が平成20年6月27日（金）IPU・環太平洋大学の5階大講義室2にて開催されました。特別講演1「視覚の遺伝子」（IPU佐藤忠文教授・理学博士）、特別講演2「休耕田を利用したアユモドキの保全活動」（国立病院機構岩国医療センター がん・再建外科診療部長 青雅一・医学博士）、特別講演3「瀬戸町におけるアユモドキの生態調査」（岡山大学大学院自然科学研究科・DC3年・学振特別研究員 安部 司）、シンポジウム「アユモドキ・・・絶滅させてはならない郷土の宝物」が夕方まで展開され、各地から集まった研究者・大学院生・市民80名が知的興奮に沸き、山陽新聞にも全県版のトップを飾りました。写真は、三谷恵一会長（環太平洋大学・次世代教育学部・学級経営学科・教授）の挨拶の様子で、熊山遺跡保存研究会副会長の金光久子さまの提供です。夕べは、新装となった環太平洋大学第二食堂で懇親パーティが開催されました。

ブラームスの「大学祝典序曲 作品80」と共に80名が意気揚々と入り、倉敷ユネスコ協会会長・小野謙二岡山大学名誉教授の「思い出」の後、岡山理科大石井猛教授の乾杯となりました。アルコール抜き飲み物は、キリンビール株式会社芦田潔部長の御配慮によるものです。

このように「岡山実験動物研究会」は、形式的な学会化を避けてきました。

それは、初代会長：猪貴義氏（岡山大学名誉教授）の麗しい初志であり、26年間その伝統を保持してきました。その精神は最高の研究発表を聴き、自己の見聞を広げると同時に、懇親会や2次会を通して自分の研究を理解しサポートしてくれる同僚や企業関係者とお友達になり、人類と動物の幸福のために、日夜研究に勤しむ会員ひとりひとりの自己実現 (self actualization) をはかることです。

第56回研究会が日本生物工学会西日本支部協賛のもとで平成20年11月21日（金）ピュアリティまきび会館にて開催されました。このよう



に奇数の研究会は初夏に各研究機関で交代に担当していただき、見学の機会を設けています。偶数の研究会は忘年会を兼ねて改まった公共のピュアリティまきび会館にて開催されています。

特別講演1「岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設の管理・運営の実践—動物実験施設の管理・運営改革2年間を振り返って」（岡山大自然生命科学研究支援センター動物資源部門・樺木勝己准教授）、特別講演2「マメジカの生理学的特性」（岡山理科大学理学部・福田勝洋教授）、記念講演「岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスとウズラの研究紹介」（岡山大学大学院自然科学研究科・農学部・佐藤勝紀教授）が展開されました。

佐藤勝紀教授は元会長であられたばかりでなく、初代会長：猪貴義氏の志を忠実に踏襲して「岡山実験動物研究会報」を26年間24号まで継続して出版下さいました。平成21年3月に岡山大学を退官され故郷の東北に帰られますことを記念して名誉会員として表彰し、送別懇親パーティを開催しました。その様子はHPをご覧ください。

「岡山実験動物研究会報」の
バックナンバーの製本

この24号まで続き厚さ10センチに達した全国的に評価の高い「岡山実験動物研究会報」のバックナンバーの2冊体制の製本が3部出来上がりま

した。

HP：岡山実験動物研究会の立ち上げ

平成 19 (2007) 年より、嶋村三智也理事 (㈱クラレ・くらしき研究所・研究専任職)、新井成之常務理事 (㈱林原生物化学研究所・研究センター・主席研究員)、国枝哲夫常務理事 (岡山大大学院自然科学研究科・動物遺伝解析学・教授) の尽力により、念願の HP が立ち上がりました。

理事会のバーチャル重複集団化

研究会に PM 式リーダーシップ論を導入し、各理事が 2 つ以上の役割を日常的に遂行するバーチャル重複集団化です。例えば HP は嶋村、新井、国枝の各理事が、バックナンバーの製本は佐藤、三谷の各理事が分担しています。その際、仕事・課題的リーダーシップ (P : performance) と遊び・集団維持 (M : maintenance) の二刀流が大切です。平成 21 年からは、「会計」は岡山理科大の浅田、石井の各理事；「研究会報の編集」は新見公立短大

の内藤を中心にノートルダム清心女子大の菊永、岡山大の高橋、国枝の各理事；「総務」は岡山大の国枝、高橋を中心に川崎医大の大熊、美作大の高橋、岡山理科大の石井の各理事；「HP」は㈱クラレの嶋村を中心に㈱林原生物化学研究所の新井、新見公立短大の内藤、岡山大の大森、辻、国枝の各理事で重複分担することになりました。

岡山大学リポジトリへの電子媒体化と世界への発信

26 年間 24 号まで続け製本 3 冊も達成しました「岡山実験動物研究会報」をスキャナーで読み、岡山大学リポジトリへ電子媒体化して永久保存し、瞬時に世界へ情報発信できるようにしたいと存じます。

これを機会に、会員数がますます多くなり、実り多い (P) 楽しい (M) 研究会へと更に発展させてまいりましょう。

